

II 調査結果の概要

< A 発育状態 >

1 身長・体重の茨城県平均値

(1) 身長

男子の身長は、5歳～7歳、9歳～11歳、14歳、17歳で前年度より伸びている。各年齢間の身長差は、11歳と12歳の間が7.6cmと最も大きく、16歳と17歳の間が1.3cmと最も小さい。

女子の身長は、5歳～7歳、9歳、10歳、12歳、14歳、15歳で前年度より伸びている。各年齢間の身長差は、8歳と9歳及び9歳と10歳の間が6.7cmと最も大きく、15歳と16歳の間が0.3cmと最も小さい。

また、9歳で0.1cm、10歳で1.6cm、11歳で1.7cm、女子の身長が男子の身長を上回っている。

(表1, 図1・2-1・2-2)

表1 男女別年齢別 身長(平均値) - 茨城県

区分		5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
男	28年度	110.5	116.7	122.4	127.7	133.8	139.0	145.2	152.8	159.7	165.0	167.9	169.6	170.9
	27年度	110.2	116.6	122.2	128.8	133.5	138.7	145.0	153.3	160.0	164.7	168.3	170.0	170.7
	差	0.3	0.1	0.2	△1.1	0.3	0.3	0.2	△0.5	△0.3	0.3	△0.4	△0.4	0.2
女	28年度	109.7	116.0	121.9	127.2	133.9	140.6	146.9	152.0	154.5	156.2	157.0	157.3	157.8
	27年度	109.4	115.5	121.8	127.7	133.5	140.0	147.0	151.8	154.9	156.1	156.5	157.3	157.8
	差	0.3	0.5	0.1	△0.5	0.4	0.6	△0.1	0.2	△0.4	0.1	0.5	—	—
28年度男女差		0.8	0.7	0.5	0.5	△0.1	△1.6	△1.7	0.8	5.2	8.8	10.9	12.3	13.1

(単位:cm)

図1 男女別年齢別 身長(平均値・標準偏差) - 茨城県

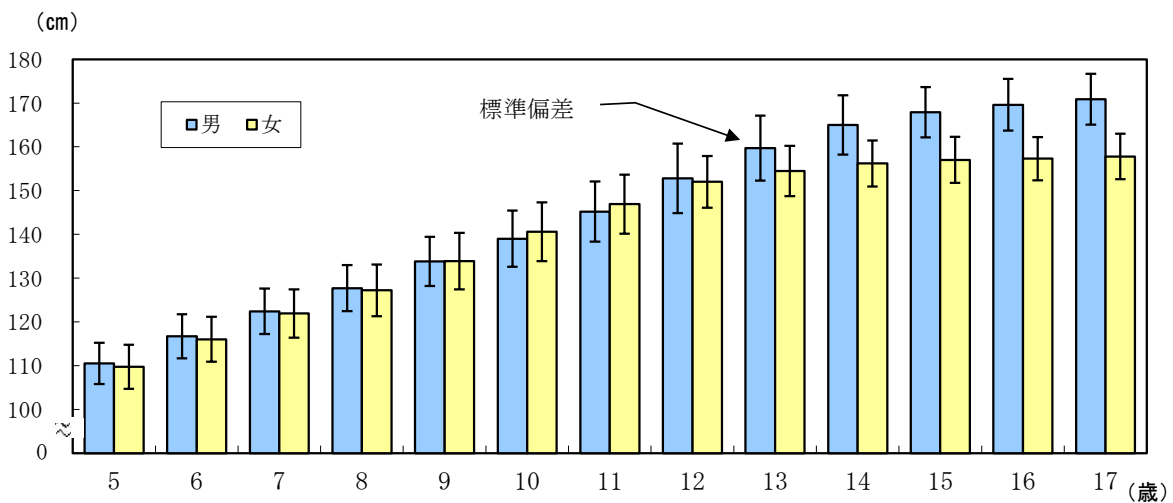


図 2-1 身長（平均値）の推移 — 茨城県 男

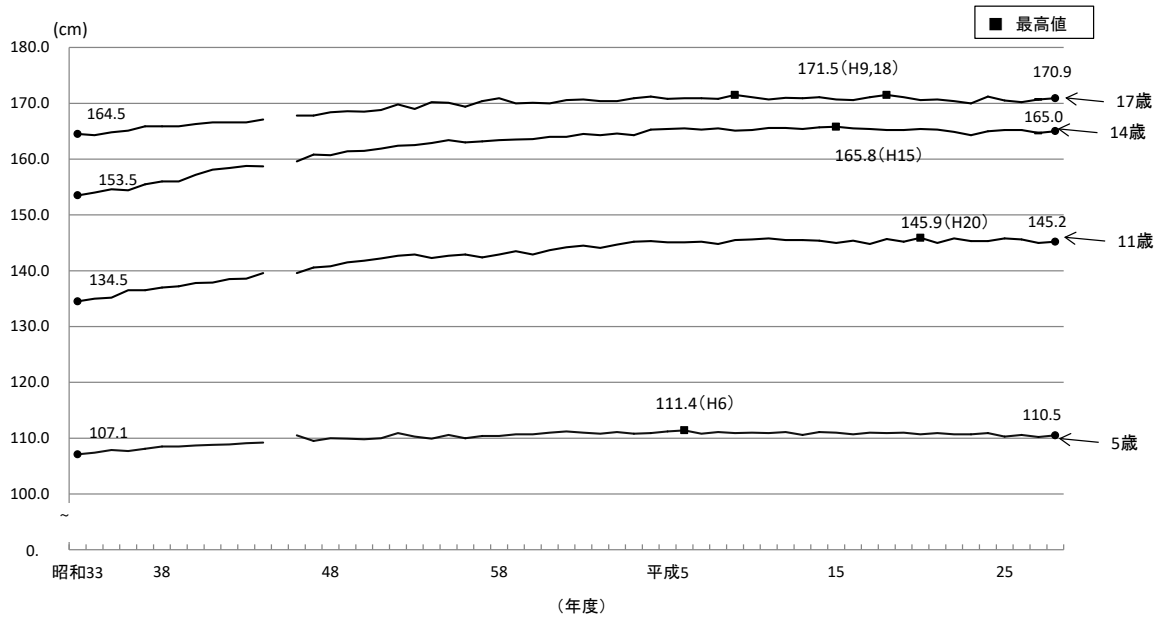
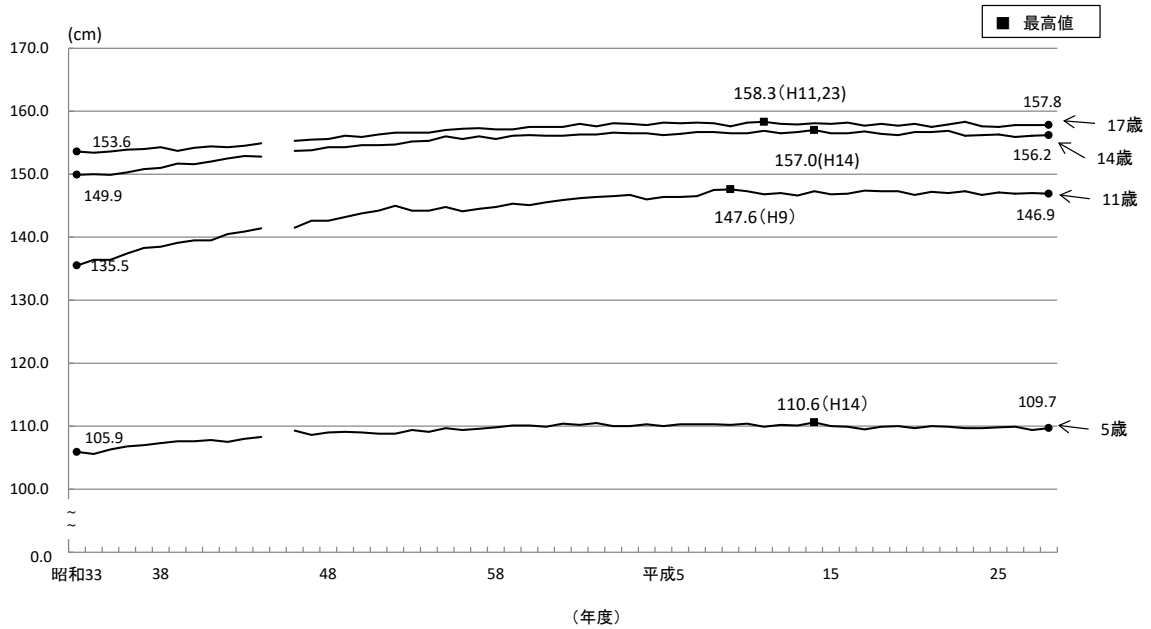


図 2-2 身長（平均値）の推移 — 茨城県 女



(注) 昭和 45 年度は都道府県集計を行なっていない。

(2) 体 重

男子の体重は、6歳、7歳、9歳、15歳で前年度より増えている。各年齢間の体重差は、11歳と12歳の間が6.2kgと最も大きく、16歳と17歳の間が0.9kgと最も小さい。

女子の体重は、6歳、7歳、9歳～12歳、15歳、16歳で前年度より増えている。各年齢間の体重差は、11歳と12歳の間が5.4kgと最も大きく、16歳と17歳の間が0.7kgと最も小さく、16歳の体重が17歳の体重を上回っている。

また、10歳で0.5kg、11歳で0.9kg、12歳で0.1kg 女子の体重が男子の体重を上回っている。

(表2, 図3・4-1・4-2)

表2 男女別年齢別 体重(平均値) - 茨城県

		(単位: kg)												
区 分		5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
男	28年度	19.1	22.0	24.3	27.3	31.2	34.4	38.7	44.9	49.3	54.2	60.0	61.3	62.2
	27年度	19.1	21.8	24.0	27.8	30.8	34.4	38.7	45.0	49.6	54.3	59.8	61.7	63.6
	差	—	0.2	0.3	△0.5	0.4	—	—	△0.1	△0.3	△0.1	0.2	△0.4	△1.4
女	28年度	18.7	21.4	24.2	26.7	30.7	34.9	39.6	45.0	47.8	50.0	52.8	54.0	53.3
	27年度	18.7	21.0	24.0	27.0	30.4	34.0	39.4	44.4	48.2	50.4	52.2	53.4	53.3
	差	—	0.4	0.2	△0.3	0.3	0.9	0.2	0.6	△0.4	△0.4	0.6	0.6	—
28年度男女差		0.4	0.6	0.1	0.6	0.5	△0.5	△0.9	△0.1	1.5	4.2	7.2	7.3	8.9

図3 男女別年齢別 体重(平均値・標準偏差) - 茨城県

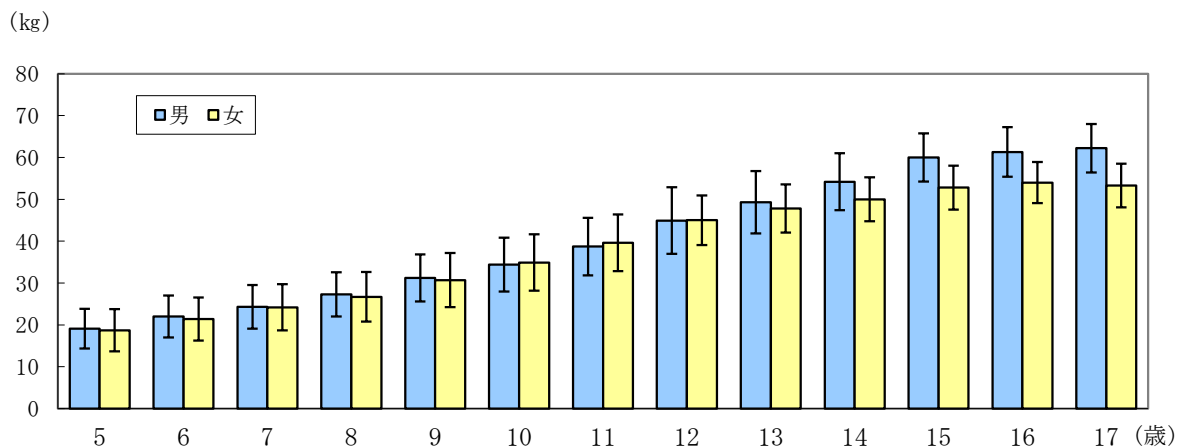


図 4-1 体重（平均値）の推移 - 茨城県 男

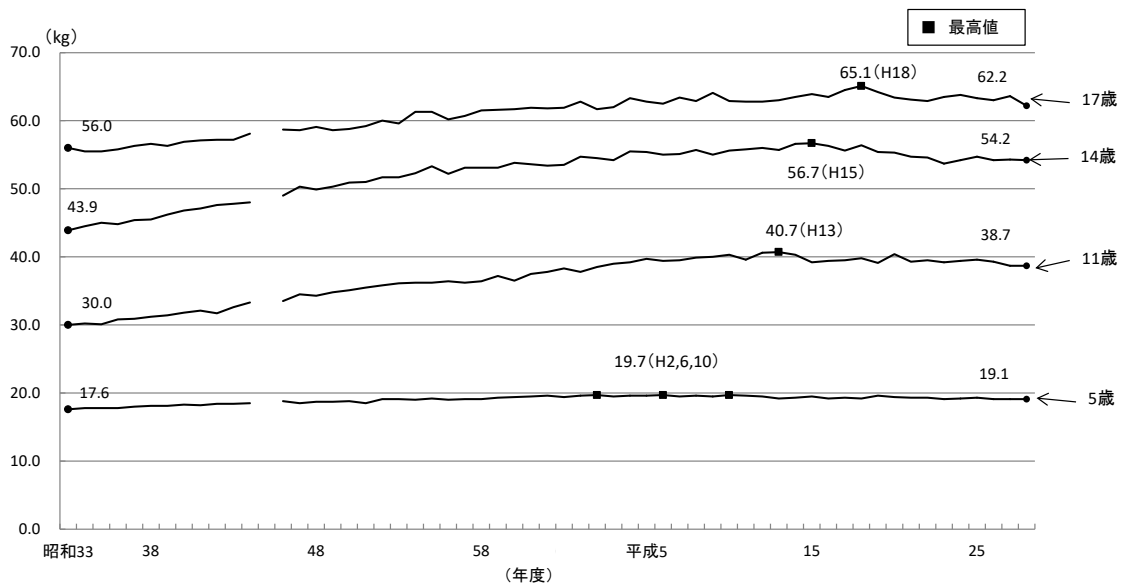
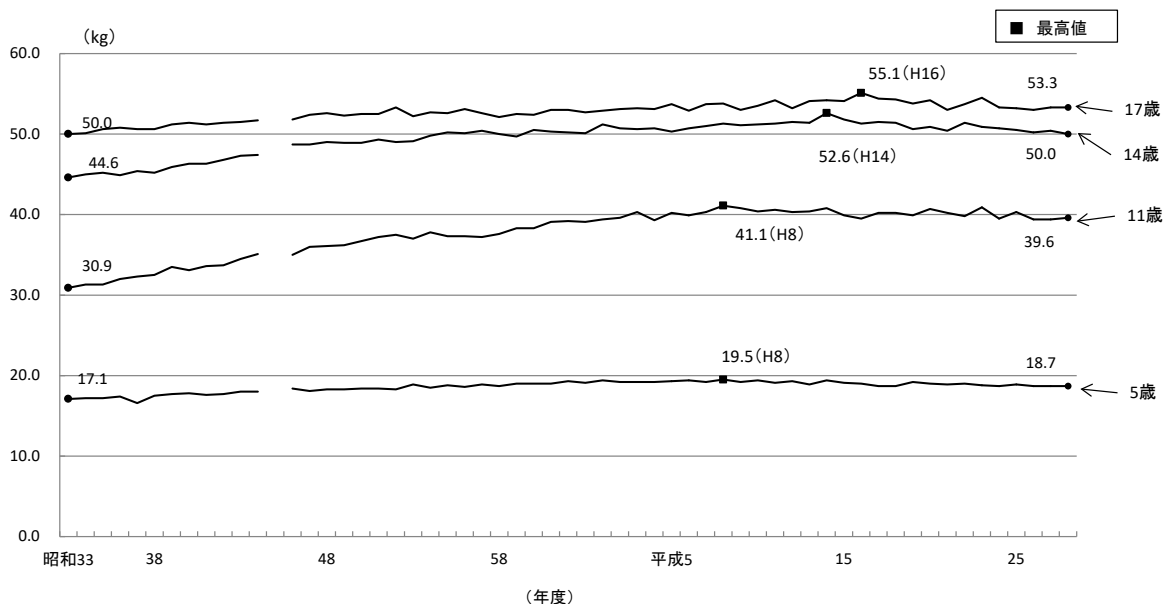


図 4-2 体重（平均値）の推移 - 茨城県 女



(注) 昭和 45 年度は都道府県集計を行っていない。

2 全国値との比較

身長を全国平均値と比較してみると、男子は5歳、6歳、9歳、10歳、12歳、17歳で、女子は5歳～7歳、9歳～12歳で全国平均を上回っている。

体重は、男子の17歳及び女子の14歳を除いた各年齢で全国平均を上回っている。

(表3)

表3 男女別年齢別 体格（平均値）〔全国値との比較〕

区 分		5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	
身長 (cm)	男	茨城県	110.5	116.7	122.4	127.7	133.8	139.0	145.2	152.8	159.7	165.0	167.9	169.6	170.9
		全国	110.4	116.5	122.5	128.1	133.6	138.8	145.2	152.7	159.9	165.2	168.3	169.9	170.7
		差	0.1	0.2	△0.1	△0.4	0.2	0.2	—	0.1	△0.2	△0.2	△0.4	△0.3	0.2
	女	茨城県	109.7	116.0	121.9	127.2	133.9	140.6	146.9	152.0	154.5	156.2	157.0	157.3	157.8
		全国	109.4	115.6	121.5	127.2	133.4	140.2	146.8	151.9	154.8	156.5	157.1	157.5	157.8
		差	0.3	0.4	0.4	—	0.5	0.4	0.1	0.1	△0.3	△0.3	△0.1	△0.2	—
体重 (kg)	男	茨城県	19.1	22.0	24.3	27.3	31.2	34.4	38.7	44.9	49.3	54.2	60.0	61.3	62.2
		全国	18.9	21.4	24.0	27.2	30.6	34.0	38.4	44.0	48.8	53.9	58.7	60.5	62.5
		差	0.2	0.6	0.3	0.1	0.6	0.4	0.3	0.9	0.5	0.3	1.3	0.8	△0.3
	女	茨城県	18.7	21.4	24.2	26.7	30.7	34.9	39.6	45.0	47.8	50.0	52.8	54.0	53.3
		全国	18.5	20.9	23.5	26.4	29.8	34.0	39.0	43.7	47.2	50.0	51.7	52.6	52.9
		差	0.2	0.5	0.7	0.3	0.9	0.9	0.6	1.3	0.6	—	1.1	1.4	0.4

3 他県との比較

身長を他県の平均値と比較してみると、女子は6歳、7歳、9歳で全国10位以内になっている。

体重は、男子は5歳、6歳、9歳、12歳で、女子は5歳～7歳、9歳～12歳、15歳～17歳で全国10位以内になっている。

(表4)

表4 男女別年齢別 体格(平均値)[他県との比較]

区分	5歳		6歳		7歳		8歳		9歳		10歳		11歳			
	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位		
身長 (cm)	男	茨城県	110.5	16 (28)	116.7	12 (15)	122.4	20 (27)	127.7	33 (4)	133.8	13 (21)	139.0	19 (23)	145.2	19 (28)
		最高値	111.7	宮城	117.4	秋田	123.6	青森	129.0	山形	134.8	秋田	140.4	秋田	147.0	秋田
	女	茨城県	109.7	11 (20)	116.0	7 (23)	121.9	10 (10)	127.2	25 (10)	133.9	9 (15)	140.6	11 (26)	146.9	18 (15)
		最高値	110.5	新潟	117.0	青森	123.0	青森	128.7	青森	135.0	秋田	142.1	青森	149.1	青森
体重 (kg)	男	茨城県	19.1	7 (9)	22.0	2 (4)	24.3	12 (19)	27.3	14 (5)	31.2	8 (13)	34.4	15 (13)	38.7	17 (13)
		最高値	19.7	宮城	22.2	青森	25.1	青森 秋田	29.0	福島	32.6	北海道	36.2	福島	41.1	宮城
	女	茨城県	18.7	10 (7)	21.4	6 (15)	24.2	5 (5)	26.7	15 (7)	30.7	7 (10)	34.9	7 (21)	39.6	10 (11)
		最高値	19.2	福島	22.1	青森	24.8	秋田	28.1	青森	31.3	青森 秋田	36.1	青森	41.6	青森

区分	12歳		13歳		14歳		15歳		16歳		17歳			
	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位		
身長 (cm)	男	茨城県	152.8	18 (6)	159.7	22 (14)	165.0	26 (31)	167.9	28 (21)	169.6	26 (16)	170.9	15 (24)
		最高値	154.9	秋田	162.0	秋田	166.6	秋田	169.2	宮城	171.0	青森 富山	171.8	石川 滋賀
	女	茨城県	152.0	14 (15)	154.5	31 (18)	156.2	27 (29)	157.0	20 (37)	157.3	25 (28)	157.8	18 (21)
		最高値	152.9	北海道	156.2	秋田	157.2	神奈川 富山 福井	157.7	青森 山形	158.3	石川	158.8	山形
体重 (kg)	男	茨城県	44.9	8 (10)	49.3	15 (9)	54.2	15 (12)	60.0	11 (12)	61.3	17 (8)	62.2	35 (9)
		最高値	47.2	秋田	51.9	青森	56.4	秋田	61.5	岩手	62.8	青森	65.5	岩手
	女	茨城県	45.0	7 (14)	47.8	11 (6)	50.0	21 (12)	52.8	5 (11)	54.0	2 (5)	53.3	10 (13)
		最高値	45.6	宮城	49.5	青森	52.3	青森	53.4	長崎	54.1	秋田	54.3	栃木

(注) 順位欄のカッコ内の数字は、平成27年度の順位。

4 親の世代(昭和61年度)との比較

身長を子供たちの親の世代である30年前(昭和61年度)と比較してみると、最も身長差が大きい年齢は、男子は12歳の2.4cm、女子は11歳の1.4cmである。

また、男子は5歳、7歳、8歳以外で、女子は5歳、8歳、13歳、16歳以外で、親の世代の身長を上回っている。

体重を比較してみると、最も体重差が大きい年齢は、男子は12歳の2.0kg、女子は7歳及び10歳の1.0kgである。

また、男子は5歳以外で、女子は5歳、14歳以外で親の世代の体重を上回っている。

(表5, 図5-1・5-2)

表5 男女別年齢別 体格(平均値)[親の世代との比較] - 茨城県

区 分		5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	
身長 (cm)	男	平成28年度	110.5	116.7	122.4	127.7	133.8	139.0	145.2	152.8	159.7	165.0	167.9	169.6	170.9
	昭和61年度	111.0	116.6	122.4	128.0	133.2	137.9	143.7	150.4	157.9	164.0	167.8	169.1	170.0	
	差	△0.5	0.1	-	△0.3	0.6	1.1	1.5	2.4	1.8	1.0	0.1	0.5	0.9	
	女	平成28年度	109.7	116.0	121.9	127.2	133.9	140.6	146.9	152.0	154.5	156.2	157.0	157.3	157.8
昭和61年度	109.9	115.7	121.3	127.2	133.0	139.3	145.5	151.2	154.5	156.1	156.8	157.3	157.5		
差	△0.2	0.3	0.6	-	0.9	1.3	1.4	0.8	-	0.1	0.2	-	0.3		
体重 (kg)	男	平成28年度	19.1	22.0	24.3	27.3	31.2	34.4	38.7	44.9	49.3	54.2	60.0	61.3	62.2
	昭和61年度	19.5	21.8	24.1	27.0	30.2	33.3	37.5	42.9	48.3	53.6	59.6	60.9	61.9	
	差	△0.4	0.2	0.2	0.3	1.0	1.1	1.2	2.0	1.0	0.6	0.4	0.4	0.3	
	女	平成28年度	18.7	21.4	24.2	26.7	30.7	34.9	39.6	45.0	47.8	50.0	52.8	54.0	53.3
昭和61年度	19.0	21.2	23.2	26.5	30.2	33.9	39.1	44.2	47.7	50.3	52.6	53.5	53.0		
差	△0.3	0.2	1.0	0.2	0.5	1.0	0.5	0.8	0.1	△0.3	0.2	0.5	0.3		

図5-1 親の世代との比較 - 茨城県 男

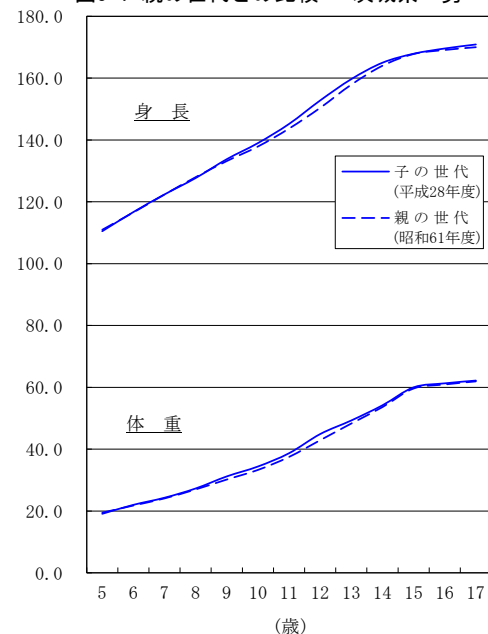
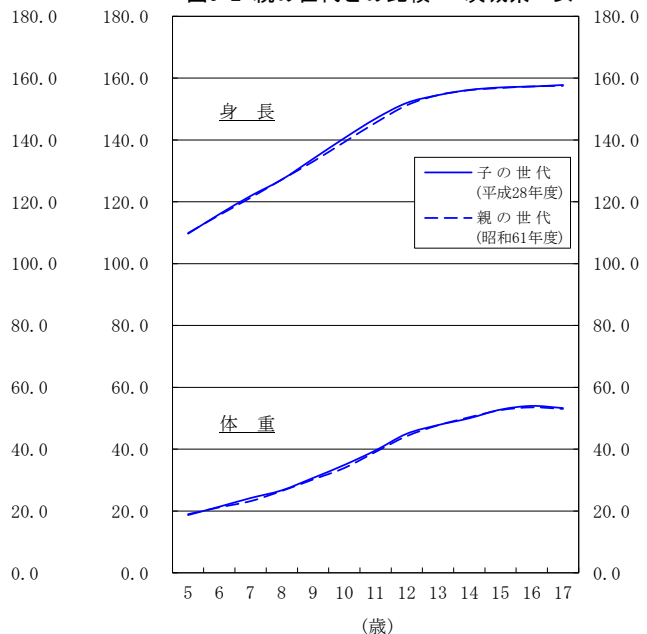


図5-2 親の世代との比較 - 茨城県 女



5 年間発育量

(1) 身長

17歳（平成10年度生まれ）の身長の年間発育量を見てみると、男子は10歳、11歳時に最大の発育量を示している。

女子では9歳時に最大の発育量を示している。最大の発育量を示す年齢は、女子のほうが男子に比べて1歳早くなっている。

また、年間発育量を親の世代の17歳（昭和43年度生まれ）と比較すると、男子では、子の世代（平成10年度生まれ）の発育量が最大となる時期（10歳、11歳時）は、親の世代より1歳早くなっており、5歳～7歳、10歳で親の世代を上回っている。

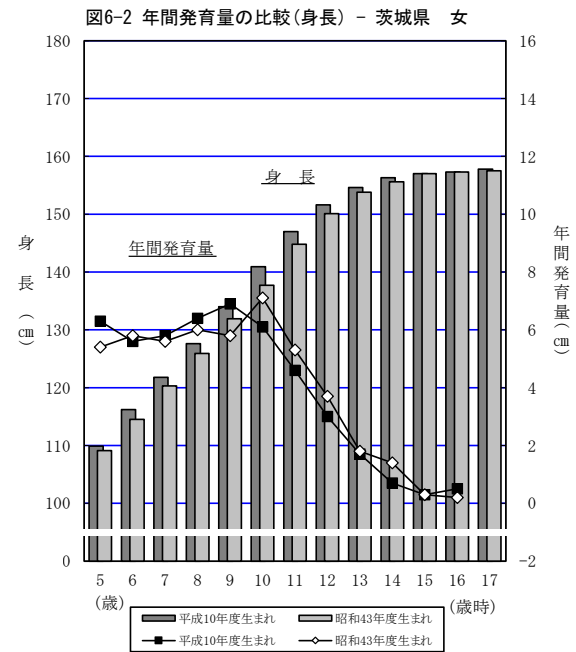
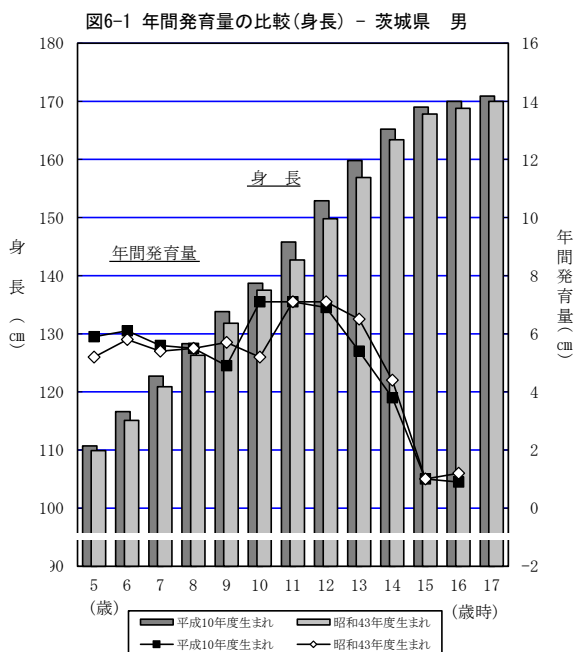
女子については、子の世代（平成10年度生まれ）の発育量が最大となる時期（9歳時）は、親の世代より1歳早くなっており、5歳、7～9歳、16歳で親の世代を上回っている。

（表6、図6-1・6-2）

表6 平成10年度生まれと昭和43年度生まれの者の年間発育量の比較（身長）－茨城県（単位：cm）

区 分	男				女				
	平成10年度生まれ (平成28年度 17歳)		昭和43年度生まれ (昭和61年度 17歳)		平成10年度生まれ (平成28年度 17歳)		昭和43年度生まれ (昭和61年度 17歳)		
	身長	年間発育量	身長	年間発育量	身長	年間発育量	身長	年間発育量	
総 発 育 量	60.2		60.1		47.9		48.4		
幼 稚 園	5歳(歳時)	110.7	5.9	109.9	5.2	109.9	6.3	109.1	5.4
	6歳(歳時)	116.6	6.1	115.1	5.8	116.2	5.6	114.5	5.8
	7歳(歳時)	122.7	5.6	120.9	5.4	121.8	5.8	120.3	5.6
	8歳(歳時)	128.3	5.5	126.3	5.5	127.6	6.4	125.9	6.0
	9歳(歳時)	133.8	4.9	131.8	5.7	134.0	6.9	131.9	5.8
	10歳(歳時)	138.7	7.1	137.5	5.2	140.9	6.1	137.7	7.1
小 学 校	11歳(歳時)	145.8	7.1	142.7	7.1	147.0	4.6	144.8	5.3
	12歳(歳時)	152.9	6.9	149.8	7.1	151.6	3.0	150.1	3.7
	13歳(歳時)	159.8	5.4	156.9	6.5	154.6	1.7	153.8	1.8
中 学 校	14歳(歳時)	165.2	3.8	163.4	4.4	156.3	0.7	155.6	1.4
	15歳(歳時)	169.0	1.0	167.8	1.0	157.0	0.3	157.0	0.3
	16歳(歳時)	170.0	0.9	168.8	1.2	157.3	0.5	157.3	0.2
高 等 学 校	17歳(歳時)	170.9	*	170.0	*	157.8	*	157.5	*

- (注) 1 「身長」は、例えば、平成10年度生まれ(平成28年度 17歳)の「5歳」の身長は平成16年度調査の5歳の者の身長であり、「6歳」の身長は平成17年度調査の6歳の者の身長である。
 2 「年間発育量」とは、例えば、平成10年度生まれの5歳時の年間発育量は、平成17年度調査の6歳の者の身長から平成16年度調査の5歳の者の身長を差し引いたものである。
 3 網掛け部分は、最大の年間発育量を示す。以上の1から3までは、以下の表において同様。



(2) 体 重

17歳（平成10年度生まれ）の体重の年間発育量を見てみると、男子は14歳時に最大の発育量を示している。

女子では10歳時に最大の発育量を示している。最大の発育量を示す年齢は、女子のほうが男子に比べて4歳早くなっている。

また、年間発育量を親の世代の17歳（昭和43年度生まれ）と比較すると、男子では、子の世代（平成10年度生まれ）の発育量が最大となる時期（14歳時）は、親の世代と同じで、5歳～8歳、10歳、11歳、15歳で親の世代を上回っている。

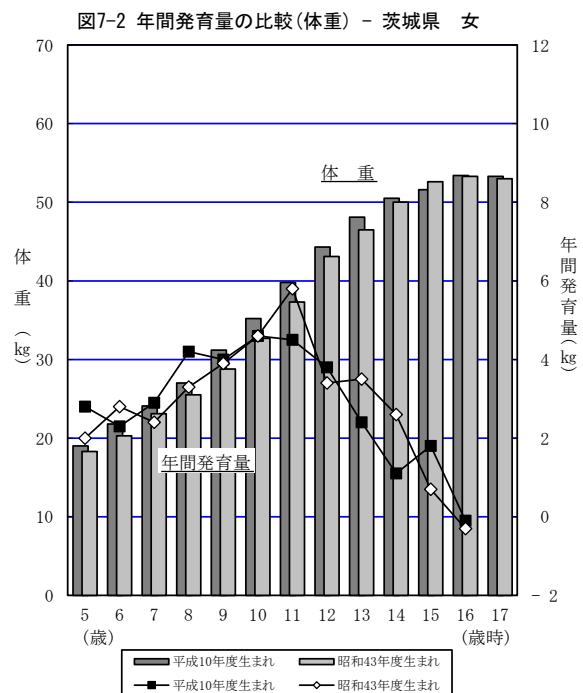
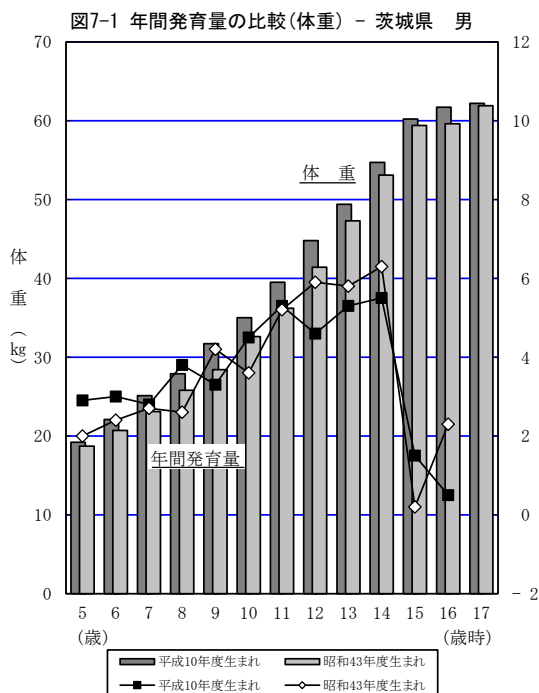
女子については、子の世代（平成10年度生まれ）の発育量が最大となる時期（10歳時）は親の世代より1歳早くなっており、5歳、7歳～9歳、12歳、15歳、16歳で親の世代を上回っている。

（表7、図7-1・7-2）

表7 平成10年度生まれと昭和43年度生まれの者の年間発育量の比較（体重） - 茨城県

（単位：kg）

区 分		男				女			
		平成10年度生まれ (平成28年度 17歳)		昭和43年度生まれ (昭和61年度 17歳)		平成10年度生まれ (平成28年度 17歳)		昭和43年度生まれ (昭和61年度 17歳)	
		体 重	年間発育量	体 重	年間発育量	体 重	年間発育量	体 重	年間発育量
総 発 育 量		43.0		43.2		34.3		34.7	
幼 稚 園	5歳(歳時)	19.2	2.9	18.7	2.0	19.0	2.8	18.3	2.0
	6歳(歳時)	22.1	3.0	20.7	2.4	21.8	2.3	20.3	2.8
小 学 校	7歳(歳時)	25.1	2.8	23.1	2.7	24.1	2.9	23.1	2.4
	8歳(歳時)	27.9	3.8	25.8	2.6	27.0	4.2	25.5	3.3
	9歳(歳時)	31.7	3.3	28.4	4.2	31.2	4.0	28.8	3.9
	10歳(歳時)	35.0	4.5	32.6	3.6	35.2	4.6	32.7	4.6
	11歳(歳時)	39.5	5.3	36.2	5.2	39.8	4.5	37.3	5.8
中 学 校	12歳(歳時)	44.8	4.6	41.4	5.9	44.3	3.8	43.1	3.4
	13歳(歳時)	49.4	5.3	47.3	5.8	48.1	2.4	46.5	3.5
	14歳(歳時)	54.7	5.5	53.1	6.3	50.5	1.1	50.0	2.6
高 等 学 校	15歳(歳時)	60.2	1.5	59.4	0.2	51.6	1.8	52.6	0.7
	16歳(歳時)	61.7	0.5	59.6	2.3	53.4	△0.1	53.3	△0.3
	17歳(歳時)	62.2	*	61.9	*	53.3	*	53.0	*



< B 健康状態 >

1 主な疾病・異常の被患率の推移

主な疾病・異常の被患率の推移をみると表8のとおりとなっている。

表8 主な疾病・異常の推移

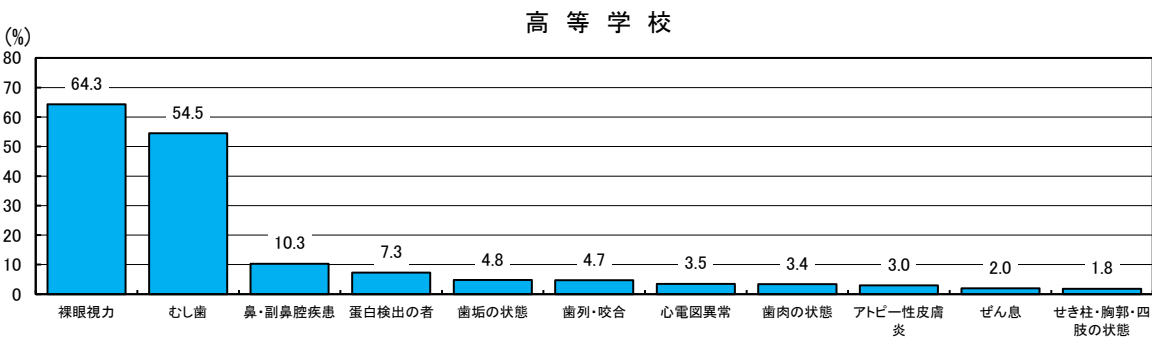
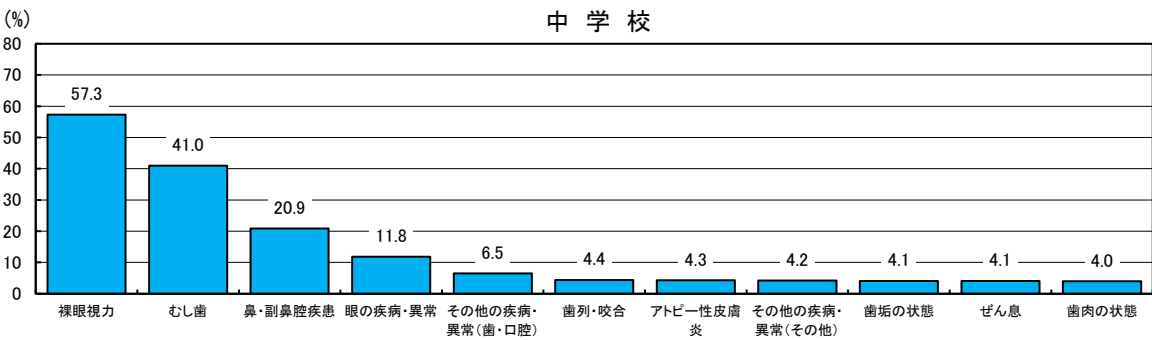
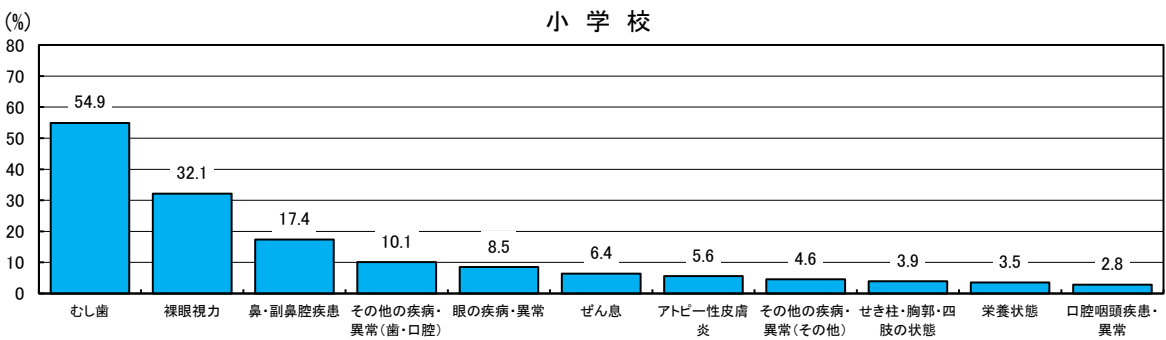
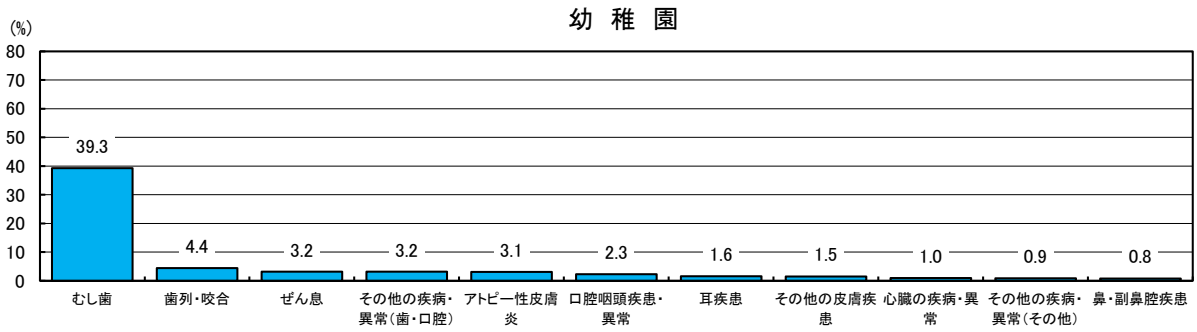
(%)

区 分		むし歯（う歯）			裸 眼 視 力			鼻・副鼻腔疾患の者	ぜん息の者	
		計	処置完了者	未処置歯のある者	計	1.0未満 0.7以上	0.7未満 0.3以上			0.3未満
幼稚園	平成22年度	53.8	19.5	34.3	23.0	18.2	4.7	0.2	1.3	3.1
	23	44.1	16.4	27.6	X	X	X	X	0.9	3.8
	24	44.9	15.2	29.6	28.4	19.5	8.1	0.8	2.9	3.6
	25	50.4	16.3	34.0	X	X	X	X	1.7	2.5
	26	45.0	14.9	30.1	X	X	X	X	1.3	1.5
	27	41.1	13.5	27.6	X	X	X	X	0.9	2.2
	28	39.3	12.0	27.2	X	X	X	X	0.8	3.2
小学校	平成22年度	64.3	30.4	34.0	29.5	10.1	11.3	8.0	8.0	2.4
	23	62.6	27.9	34.8	28.9	10.8	10.6	7.5	5.7	3.3
	24	56.4	28.1	28.3	29.9	10.2	10.9	8.8	8.4	5.4
	25	59.4	28.4	31.0	29.9	10.0	11.4	8.5	15.2	6.1
	26	57.2	25.1	32.0	29.6	10.2	11.3	8.1	16.2	5.8
	27	56.7	26.5	30.2	27.5	9.4	10.5	7.6	13.7	4.6
	28	54.9	25.1	29.8	32.1	11.3	11.6	9.2	17.4	6.4
中学校	平成22年度	58.1	30.3	27.8	52.2	11.4	17.0	23.7	6.6	2.1
	23	55.4	27.8	27.5	52.6	10.6	16.6	25.5	10.6	2.7
	24	51.0	26.4	24.6	53.4	10.7	15.8	26.8	8.4	3.7
	25	49.4	26.5	22.9	52.0	8.3	15.9	27.8	11.3	4.4
	26	47.6	25.1	22.5	53.3	11.9	16.2	25.3	11.8	3.7
	27	46.3	24.8	21.5	52.4	9.8	15.4	27.2	12.2	3.5
	28	41.0	21.2	19.8	57.3	10.1	15.7	31.6	20.9	4.1
高等学校	平成22年度	66.0	33.0	33.0	66.9	11.7	16.1	39.1	4.6	2.6
	23	65.4	32.2	33.2	59.8	11.8	16.4	31.6	3.3	2.2
	24	60.3	30.8	29.6	68.9	10.0	16.9	42.1	3.8	2.0
	25	57.7	30.4	27.3	70.1	9.9	15.7	44.5	4.5	1.5
	26	52.6	27.6	25.0	66.8	9.0	15.3	42.6	8.8	2.4
	27	50.3	24.0	26.4	68.4	9.4	15.7	43.3	7.1	2.2
	28	54.5	28.9	25.5	64.3	11.2	16.0	37.1	10.3	2.0

(注) 「X」は疾病・異常被患率等の標準誤差が5%以上、受検者数が100人（5歳は50人）未満または回答校が1校以下のため、統計数値を公表しない。

小数点以下第2位を四捨五入している。以下の各表において同じ。

図8 被患率の高い疾病・異常の現況（学校段階別）



2 むし歯（う歯）のある者の割合

むし歯のある者の割合（処置完了者を含む。以下同じ。）は、幼稚園 39.3%、小学校 54.9%、中学校 41.0%、高等学校 54.5%となっており、幼稚園、小学校では、被患率が最も高い疾病・異常となっている。

前年度と比較すると、幼稚園、小学校、中学校で減少している。

全国と比較すると、幼稚園は 3.7 ポイント、小学校は 6.0 ポイント、中学校は 3.5 ポイント、高等学校は 5.3 ポイント全国平均を上回っている。

年齢別にみると 8 歳が 62.5%と最も高くなっている。

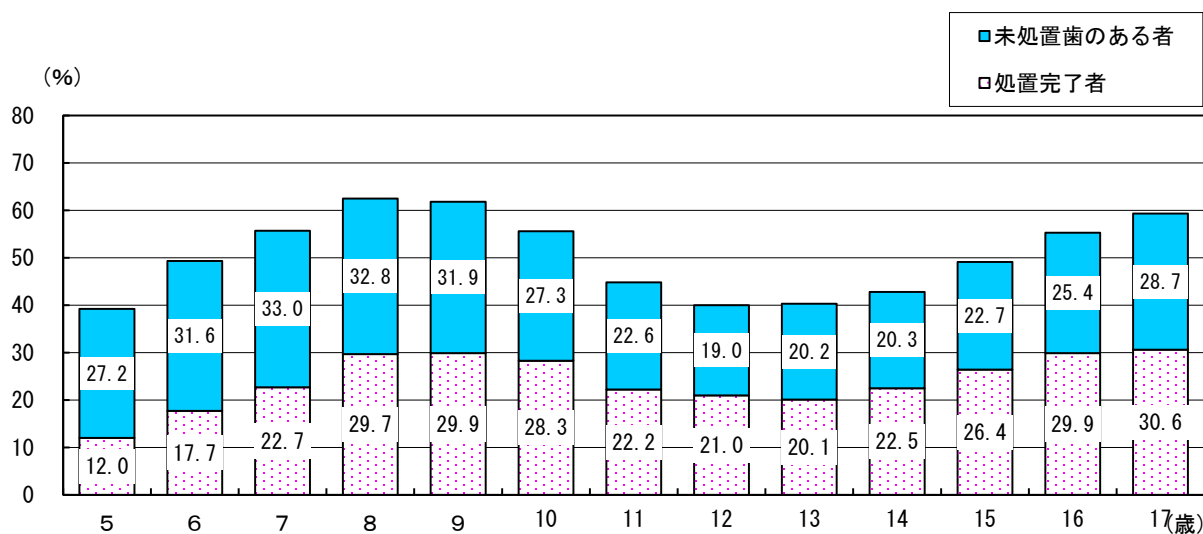
（表 8，表 9，図 9）

表 9 学校段階別 むし歯の者の割合

（単位：％）

区 分		計			処置完了者			未処置歯のある者		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女
幼稚園 (5歳)	茨城県	39.3	40.4	38.1	12.0	13.2	10.8	27.2	27.2	27.3
	全 国	35.6	36.9	34.4	14.5	15.2	13.9	21.1	21.7	20.5
	差	3.7	3.5	3.7	△ 2.5	△ 2.0	△ 3.1	6.1	5.5	6.8
小学校	茨城県	54.9	57.2	52.5	25.1	25.4	24.8	29.8	31.8	27.7
	全 国	48.9	50.6	47.2	24.7	25.3	24.1	24.2	25.2	23.0
	差	6.0	6.6	5.3	0.4	0.1	0.7	5.6	6.6	4.7
中学校	茨城県	41.0	39.4	42.7	21.2	19.9	22.6	19.8	19.5	20.2
	全 国	37.5	36.3	38.8	21.0	19.9	22.2	16.5	16.4	16.6
	差	3.5	3.1	3.9	0.2	0.0	0.4	3.3	3.1	3.6
高等学校	茨城県	54.5	54.1	54.8	28.9	26.6	31.4	25.5	27.5	23.5
	全 国	49.2	47.3	51.1	28.4	25.9	30.9	20.8	21.4	20.3
	差	5.3	6.8	3.7	0.5	0.7	0.5	4.7	6.1	3.2

図 9 年齢別 むし歯の者の割合 — 茨城県



3 裸眼視力 1.0 未満の者の割合

裸眼視力 1.0 未満の者の割合は、小学校 32.1%、中学校 57.3%、高等学校 64.3%となっている。

前年度と比較すると、高等学校で減少している。

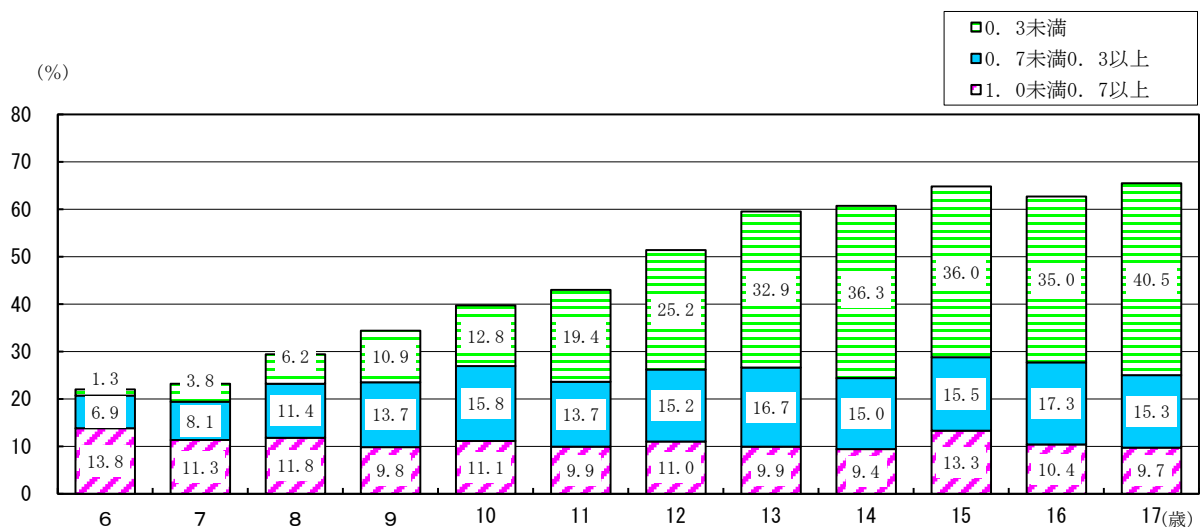
全国と比較すると、小学校及び中学校で全国平均を上回っている。

(表 8, 表 10, 図 10)

表 10 学校段階別 裸眼視力 1.0 未満の者の割合 (単位：%)

区 分	計			1.0未満～0.7以上			0.7未満～0.3以上			0.3未満			
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
幼稚園 (5歳)	茨城県	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	全国	27.9	27.3	28.6	20.0	19.6	20.4	7.1	6.9	7.3	0.9	0.9	0.8
	差
小学校	茨城県	32.1	28.5	35.8	11.3	10.1	12.5	11.6	10.4	12.9	9.2	7.9	10.5
	全国	31.5	28.3	34.8	11.2	10.2	12.1	11.7	10.5	12.9	8.6	7.5	9.8
	差	0.6	0.2	1.0	0.1	△ 0.1	0.4	△ 0.1	△ 0.1	0.0	0.6	0.4	0.7
中学校	茨城県	57.3	51.4	63.5	10.1	10.2	10.0	15.7	14.7	16.7	31.6	26.5	36.8
	全国	54.6	49.5	60.1	11.5	10.4	12.8	16.4	15.7	17.2	26.7	23.4	30.1
	差	2.7	1.9	3.4	△ 1.4	△ 0.2	△ 2.8	△ 0.7	△ 1.0	△ 0.5	4.9	3.1	6.7
高等学校	茨城県	64.3	59.4	69.5	11.2	12.1	X	16.0	15.6	X	37.1	31.6	X
	全国	66.0	62.0	70.0	11.8	11.5	12.2	16.6	16.4	16.8	37.5	34.1	41.0
	差	△ 1.7	△ 2.6	△ 0.5	△ 0.6	0.6	...	△ 0.6	△ 0.8	...	△ 0.4	△ 2.5	...

図 10 年齢別 裸眼視力 1.0 未満の者の割合 — 茨城県



4 鼻・副鼻腔疾患の者の割合

鼻・副鼻腔疾患の者の割合は、幼稚園 0.8%、小学校 17.4%、中学校 20.9%、高等学校 10.3%となっており、前年度と比較すると、小学校、中学校、高等学校で前年度より増加している。

全国と比較すると、小学校は 4.5 ポイント、中学校は 9.4 ポイント、高等学校は 0.9 ポイント全国平均を上回っている。

年齢別にみると、14 歳が 23.0%と最も高くなっている。

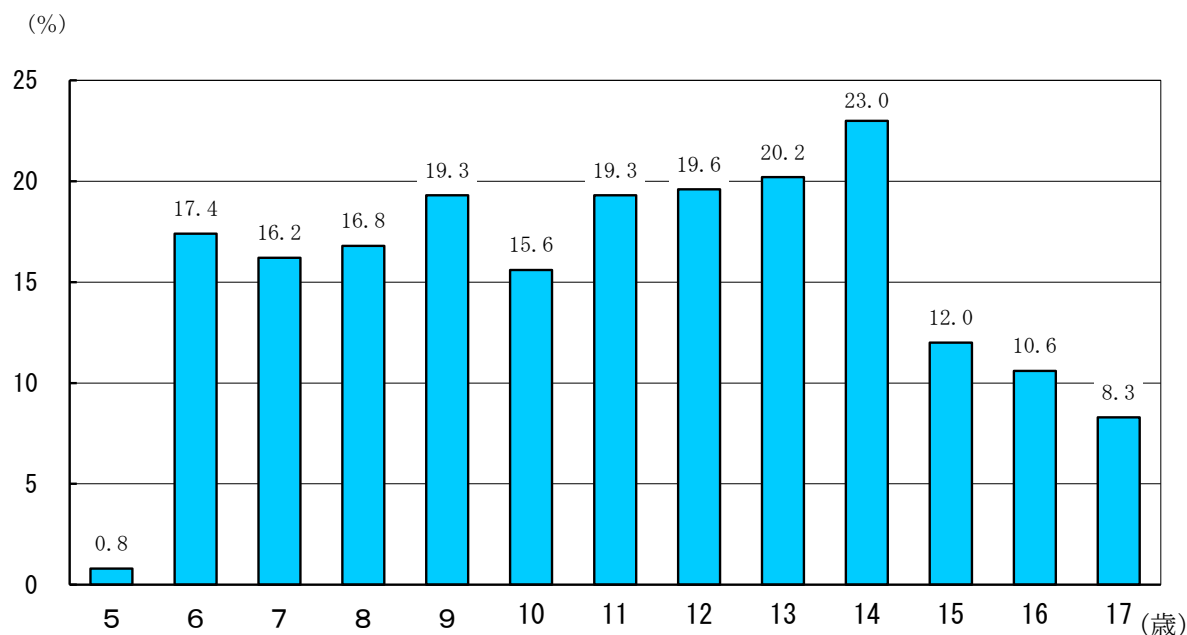
(表 8, 表 11, 図 11)

表 11 学校段階別 鼻・副鼻腔疾患の者の割合

(単位：%)

区 分		計	男	女
幼稚園 (5 歳)	茨城県	0.8	0.8	0.9
	全 国	3.6	4.2	2.9
	差	△ 2.8	△ 3.4	△ 2.0
小学校	茨城県	17.4	19.2	15.6
	全 国	12.9	15.8	9.9
	差	4.5	3.4	5.7
中学校	茨城県	20.9	22.4	19.4
	全 国	11.5	13.3	9.7
	差	9.4	9.1	9.7
高等学校	茨城県	10.3	10.9	9.7
	全 国	9.4	10.6	8.3
	差	0.9	0.3	1.4

図 11 学校別 鼻・副鼻腔疾患の者の割合 — 茨城県



5 ぜん息の者の割合

ぜん息の者の割合は、幼稚園 3.2%、小学校 6.4%、中学校 4.1%、高等学校 2.0%となっている。

前年度と比較すると、幼稚園、小学校、中学校で前年度より増加している。

全国と比較すると、幼稚園で0.9ポイント、小学校で2.7ポイント、中学校で1.2ポイント、高等学校では0.1ポイント全国平均を上回っている。

年齢別にみると、7歳、9歳が6.7%と最も高くなっており、11歳～17歳では、年齢が上がるほど低下している。

(表8, 表12, 図8, 図12)

表12 学校段階別 ぜん息の者の割合

(単位：%)

区	分	計	男	女
幼稚園 (5歳)	茨城県	3.2	3.5	2.7
	全 国	2.3	2.7	1.9
	差	0.9	0.8	0.8
小学校	茨城県	6.4	7.7	5.0
	全 国	3.7	4.4	3.0
	差	2.7	3.3	2.0
中学校	茨城県	4.1	5.2	3.0
	全 国	2.9	3.5	2.3
	差	1.2	1.7	0.7
高等学校	茨城県	2.0	2.2	1.8
	全 国	1.9	2.1	1.7
	差	0.1	0.1	0.1

図12 学校段階別 年齢別ぜん息の者の割合 - 茨城県

